

答 申 書

<周辺公共施設を含めた新庁舎の在り方に関する事項について>

奥尻町総合庁舎等建設委員会

1 新庁舎に含める周辺公共施設について

新庁舎に集約する行政機能については、次の理由により保健福祉センター機能を持たせ、役場庁舎と議会庁舎を合築し、消防庁舎を併設することが最善であると判断する。

<集約する理由>

- ① 住民が利用しやすい視点に立ち、ライフイベントに関連する手続きなどワンフロアで行うことができるワンストップサービスを目指す。
- ② 防災拠点としての役割を果たすため、耐震性のない役場庁舎、議会庁舎及び消防庁舎を改築し、集約することで、共用部分をフレキシブルに活用し、コンパクトな庁舎を目指す。

2 新庁舎の建築規模について

総務省が定める起債対象となる算定方法などから、議会を含めた役場庁舎が2,000㎡、消防庁舎が500㎡の合計2,500㎡を基本とすることが最善であると判断する。

ただし、将来的な財政負担を軽減するため、集約によるメリットを最大限活用し、建築コストやランニングコスト等を抑え、より「コンパクト」な庁舎になるよう工夫すること。

<新庁舎の目指す姿>

